

平成 27 年度 福岡県ひとり暮らし高齢者等見守り活動 表彰団体

団体名	特徴	活動内容
<p>博多校区<sup>おおはま</sup>大浜 社会福祉協議会 (福岡市)</p>	<p>ふれあい訪問員や生活支援ボランティアグループとの協働による重層的な見守り・生活支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 人の見守り対象者を、少なくとも 1 人のふれあい訪問員が担当</li> <li>ふれあい訪問員では対応が難しい案件（庭木の伐採や電球交換、エアコン・換気扇清掃等の日常生活支援）については、校区の生活支援ボランティアグループが依頼を受け、校区ボランティアや町内ボランティアが実施</li> <li>交流事業として高齢者食事会や配食を実施</li> <li>緊急時対応として「見守り対象者カード」や「見守りマップ」を作成</li> <li>長年にわたる多彩で重層的な取組みにより、ボランティアや自主防災組織等、多くの住民が参加する仕組みを構築</li> </ul>
<p>鳥飼<sup>とりかい</sup>ふれあいの会 (久留米市)</p>	<p>対象に応じた頻度の高い見守り活動を行うとともに、訪問記録の作成などで情報を共有し、対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週 1 回程度見守り対象者を訪問しており、超高齢の対象者には、体調等に合わせ訪問頻度を増加</li> <li>訪問の活動記録を作成し、民生委員・地域包括支援センター等と連携して、高齢者の孤立防止、自立支援に活用</li> <li>見守り活動や認知症介護などをテーマとした「ふれあいの会研修会」を、専門家を招いて定期的に開催</li> <li>民生委員等と協力して校区の会食会や配食活動を実施</li> </ul>
<p>桜町<sup>さくらまち</sup>公民館 (田川市)</p>	<p>福祉マップの作成や「幸せの黄色いハンカチ」等による安否確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉マップの作成による見守り対象者の把握</li> <li>民生委員、連絡委員、隣組長、近隣住民等により、月 2～3 回程度の訪問を実施</li> <li>「幸せの黄色いハンカチ」（高齢者に黄色い布を配布して、家のポストや玄関前にかざすことで“今日も元気です”のシグナルを送り、民生委員や近隣住民に安否が伝わる工夫）を実施</li> <li>高齢者を対象とした健康体操を月 2 回実施</li> <li>平成 26 年 10 月の台風接近時に、町内のひとり暮らし高齢者を民生委員や公民館長等が自主的に桜町公民館へ避難させ、布団や毛布等を提供</li> </ul>
<p>徳力<sup>とくりき</sup>団地自治会 (北九州市)</p>	<p>自治会を中心とした密な連絡体制を構築し、見守り訪問活動とともに見守り対象者参加型の安否確認活動を定期的実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会役員が常駐する団地内事務所において、棟委員（全 72 棟）との会議を毎月開催。福祉協力員、民生委員も参加し、見守り対象者の状況を把握して対応</li> <li>自治会の会報を、75 歳以上の入居者に棟委員が直接届ける「見守り訪問」を毎月実施</li> <li>「北九州体操」、「ふれあいバザー」「ふれあい喫茶」「おり紙教室」「食事会」、「映写会」など、対象者参加型の安否確認活動を定期的実施</li> </ul>
<p>九州電力株式会社 北九州支社 (北九州市)</p>	<p>好事例の情報共有や社内表彰制度等、見守り活動への従業員の意識向上の取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気事業として地域に関わる日常業務（電気の検針、集金等お客さま訪問活動）において、ひとり暮らし高齢者宅等の訪問時に異変を察知した場合、各区役所の連絡窓口に通報する活動を市内全域で展開</li> <li>社内の実績、事例を社内ネットワーク（電子掲示板）により情報共有</li> <li>好事例に対する社内表彰制度を整備</li> <li>見守り活動への協力の促進拡大のため、グループ会社に対して「北九州市いのちをつなぐネットワーク推進会議」への参加を呼びかけ</li> </ul>

平成 28 年度 福岡県ひとり暮らし高齢者等見守り活動 表彰団体

団体名	特徴	活動内容
八幡東区老人クラブ連合会 (北九州市)	長年に渡って密度の高い見守り活動を行うとともに、当該団体が中心となり、八幡東区自治総連合会、八幡東警察署、八幡東消防署の四者による同行訪問を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20 年以上に渡ってひとり暮らし高齢者宅へ月 4～5 回訪問</li> <li>・ひとり暮らし高齢者の孤独感解消と安否確認を兼ねた外出機会の創出のため、健康づくり講話やまち美化活動などを積極的に開催</li> <li>・八幡東区自治総連合会、八幡東警察署とともに「八幡東交通安全高齢者宅訪問隊」を結成し、交通安全や防犯、詐欺被害防止などの注意喚起も行いながら全組織の担当者が毎月訪問、併せて防火安全運動も実施</li> <li>・福岡県交通安全県民大会シルバーセーフティコンクール特別賞受賞 (H28.11)</li> </ul>
東若久校区ふれあいネットワーク活動運営協議会 (福岡市)	自治会長を中心とした民生委員・社協・シニアクラブの4団体による活動のほか、隣組長や近隣住民等による重層的な見守り体制を構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会ごとに見守り活動の班を構成。自治会長を中心に、民生委員、社協、シニアクラブの4団体が横断的に協力する体制で、全 14 自治会で見守りを実施。さらに、多くの自治会で隣組長や近隣住民等による家の外からの見守りも行い、重層的な見守り体制を構築</li> <li>・校区全体で毎年研修会とワークショップを開催し、団体同士や活動者同士の認識を共有</li> <li>・校区独自に「活動マニュアル」を作成し、研修会において活動の基本を確認・共有。幅広い世代に研修参加を呼びかけ、今年度は新たに福祉施設や事業所も参加</li> <li>・平成 25 年度には要援護者や見守り対象者への安否確認訓練を全自治会で実施</li> <li>・今年度より、校区における高齢者を対象とした生活支援・介護予防の推進も当該協議会で進めていくこととなり、介護予防教室等も実施予定</li> </ul>
東国分ふれあいこだま会 (久留米市)	長年に渡って密度の高い見守りを実施するとともに、料理教室の開催など、地域に根付いた活動によるひとり暮らし高齢者の孤立防止を推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年に渡り、月 4 回と高い頻度で独居高齢者や高齢者夫婦、認知症高齢者への声かけ訪問を定期的実施。また、対象者の誕生日には花を持って訪問</li> <li>・毎月の班長会で訪問活動時の課題等について情報共有を行うとともに、学習会を実施</li> <li>・1 人暮らし高齢者を対象とした自立支援教室として、料理教室を開催したり、校区のバザーで出店したりするなど、地域に根付いた活動を実施</li> <li>・最近では子ども食堂の食事作りにも協力しており、近くの介護施設や地域の高齢者、お母さん方にも声をかけ、活動の幅を拡大</li> </ul>
美吉野区福祉会 (水巻町)	見守り活動のポイントを共有し、地区の関係団体の協力により、日ごろの生活の中に見守りを位置づけて取組みを実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象高齢者緊急連絡先名簿を作成し、役員全員に配付し、情報を共有</li> <li>・「昼と夜、2 回に分けてパトロールを行い、その際独居高齢者の近所の方たちに最近異変はないか聞き取りを行う」ことを会員全員で共有。会員は近所の対象者を担当し、日ごろの生活の中に見守りを位置づけ</li> <li>・年に 2 回見守り対象者に花を贈呈し、花の世話を通した交流を実施</li> <li>・「ふれあい生き生きサロン活動」として、ふれあい体操や昼食会、自主ウォーキンググループ活動等を行い、高齢者の孤立化を防止</li> </ul>

団体名	特 徴	活動内容
エフコープ生活協同組合 (篠栗町)	配達担当者等に対して十分な研修を行った上で、日常業務を通じて全県的に見守りを実施。市町村とも緊密に連携。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常業務（食料品や雑貨などの配達、夕食宅配等の訪問活動）において、訪問時に異変を察知した場合や各種相談を受けた場合に、各市町村の連絡窓口に通報・相談する活動を県内全域で展開</li> <li>・ 配達担当者をはじめ、職員に対し、見守り活動、認知症サポーター養成、特殊詐欺事例、AED 操作等に係る各種研修を実施</li> <li>・ 見守り等に関し、他の模範となる行動を行った職員に対しては、事業所長会議にて表彰状等を授与</li> <li>・ 平成 28 年 5 月には、県内市町村の見守り担当職員と生協職員による「地域見守り活動に関する研修・交流会」を開催</li> <li>・ 県との「見守りネットふくおか」協定締結（平成 25 年 12 月）以降、救命実績 15 件、特殊詐欺の未然防止実績 2 件</li> </ul>

平成 29 年度 福岡県ひとり暮らし高齢者等見守り活動 表彰団体

団体名	特徴	活動内容
高取校区社会福祉協議会 (福岡市)	高齢者のお困り事に対応する「シルバー110番」を地域の社会資源も活用しながら実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月3回の見守り訪問活動や高齢者の集いの場（以下「サロン」という。）の開催ではカバーされない手助けを必要とする高齢者に対応するため、平成28年5月から、見守り活動員宅や地域の社会資源（商店、介護保険事業所、薬局等）の協力を得て、「シルバー110番」（子ども110番の家の高齢者版）を開始した。</li> <li>・シルバー110番のプレートを設置した見守り活動員宅や協力施設では、地域の高齢者のお困り事（例：道に迷った。気分が悪くなった）に、マニュアルに基づいて対応している。</li> <li>・シルバー110番を多世代に向けて周知するため、29年11月、児童・保護者や老人クラブなどを対象としたウォークラリー大会「捜そう、シルバー110番」を開催した。</li> <li>・シルバー110番の協力施設も、従来からの見守り活動の定例会議に参加するようになり、情報共有や相互の連携が図られている。</li> </ul>
高良内校区ふれあい明星の会 (久留米市)	長年に渡る見守り訪問活動やサロンの開催と、活動を通じて把握した困難事例への組織的な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15班編成により月1回の訪問及び年6回の配食活動を行っている。</li> <li>・高齢者の交流のため、サロンを開催し（H28年度実績14回）、各種レクリエーション、会食、防犯学習会、健康講話、遠足など、参加者を飽きさせないようプログラム内容を工夫している。</li> <li>・月1回班長定例会を開催し、訪問活動時に気づいた点や心配な点を報告し会全体で情報共有するとともに、困難事例について協議して（H28年度の協議実績数38件）組織的に対応方針を決めており、個人や班に対応を任せきりにすることがないようにしている。</li> <li>・訪問活動等によって判明した個別の問題について、地域包括支援センターなどの機関に情報提供し、見守り以上の支援が必要と判断された場合は連携して対応している。</li> </ul>
四三嶋区（筑前町）	見守り訪問と生活支援サービスの密接な連携とサロンの毎週開催による閉じこもりの防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月3回の見守り訪問と、家事手伝い、資源ゴミの運搬、病院の付き添い等の生活支援サービスを連携して行っている</li> <li>・高齢者の閉じこもり防止や交流促進のため、週1回サロンを開催している。</li> <li>・気軽な参加を促すため出入り自由とし、参加者が話し合っている、ゲームや体操、歌唱等のやりたいことを決めることができるサロンとして運営している。</li> <li>・地域全体、特に若い世代への見守り意識啓発のため、平成28年度から地区の中学校と連携し、中学生ボランティアの受け入れを始め、資源ゴミの運搬等を手伝ってもらっている。</li> </ul>
愛のネットワーク推進会 (吉富町)	長年に渡る緊急通報システム利用者への通報があった際の援助活動、見守り訪問及び生活上の相談への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「一人の不幸も見逃さないネットワーク・暖かく支えあう地域社会づくり」を目的として会を設置して以来、長年に渡って緊急通報システム利用者に対する通報があった際の援助活動のほか、月1回の自宅訪問による声かけ、見守り、安否確認を実施し、生活上の相談にも対応している。</li> <li>・定期的に地区分会長、副分会長会議を開催し、困難事例を含めた事例報告や対象者の生活状況などについて意見交換を行い、地域の課題を共有して、見守りの必要性について理解を深めている。</li> </ul>

団体名	特徴	活動内容
北福朝日会 (北九州市)	定期的な見守り活動への意識付けと新聞配達業務を通じた見守りの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各配達員は、郵便受けの状況や集金時の会話等において異変がないかを確認している。</li> <li>・店長定例会議において、顧客か否かに限らず、困っている様子や具合が悪そうな高齢者を見かけたら積極的に声をかけるよう定期的に周知し、各店舗において、店長から配達員に伝達している。</li> <li>・北九州市の「いのちをつなぐネットワーク」への参加、福岡県との「見守りネットふくおか」協定締結により行政と連携し、異変に気付いた配達員が北九州市に連絡したことで、救命につながった実績がある。</li> <li>・販売店店長を中心に認知症サポーター養成講座を積極的に受講している（平成29年2月現在148人受講）。</li> </ul>

平成 30 年度 福岡県ひとり暮らし高齢者等見守り活動 表彰団体

団体名	特 徴	活動内容
<p>笹丘校区社会福祉協議会（福岡市）</p>	<p>地域住民と福祉・医療等の専門職が連携しながら地域福祉活動を展開、地域に根付いた多彩な活動による高齢者の孤立防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例の見守り訪問のほか、ふれあいネットワーク回覧板（高齢者福祉情報掲載）及び一般の回覧板を回す際にも見守りを行うことを各町内会に徹底しており、住民同士の「顔が見える関係づくり」につながっている。</li> <li>・ 2ヶ月に1回、校区の福祉関係団体、行政、区社会福祉協議会、圏域ケアマネジャー会（介護事業所・医療機関）等が参加する「校区ネットワーク包括会議」を開催し、見守り活動に関する情報共有や課題解決に向けた協議を行っている。</li> <li>・ 昼食の提供も行うふれあいカフェ（週1回）、こども食堂・世代間交流を兼ねたふれあい食堂（月2回）、犬の散歩時に高齢者の安否確認も行うわんわんパトロールなどを行っている。</li> <li>・ 昨年度から生活支援ボランティアグループの活動、今年度からは高齢者買い物支援バスの運行を開始するなど、積極的に新たな活動に取り組んでいる。</li> </ul>
<p>周船寺校区社会福祉協議会（福岡市）</p>	<p>隣組長及び地域の民間企業や福祉施設等と連携した重層的な見守り体制の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生委員を中心とした定例の見守り訪問に加え、各自治会を通して隣組長にもさりげない外からの見守りをお願いするなど、校区全体で組織的な見守りを行っている。</li> <li>・ 「周船寺校区ふれあいネットワーク活動個人情報の手引き」を作成し、活動員間での個人情報の取扱いに関する認識を統一している。</li> <li>・ 校区防災推進委員会と共催で、対象者の安否確認と避難誘導を行う「要支援者避難訓練」を行っており、緊急時の連携体制が整えられている。</li> <li>・ 地域の民間企業や福祉施設等と連携し、業務中に住民の異変に気付いた際には地域活動者に通報を行う仕組みを構築している。</li> </ul>
<p>三苦校区社会福祉協議会（福岡市）</p>	<p>見守り訪問と生活支援サービスの密接な連携と、ボランティア養成講座の開講による後継者の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活支援ボランティアと連携し、見守りと生活支援サービスを兼ねた取組をしている。活動を通して、見守りが必要と思われる者及び生活支援の必要がある者相互の掘り起こしを行っている。</li> <li>・ 年3回の班会議で、見守り対象者とボランティアを地区に示した「見守りマップ」を確認しながら対象者の様子など情報交換し、班会議実施後は、校区会議を行い、班会議の報告や地域の課題の検討などを行っている。</li> <li>・ ボランティア養成講座を昨年度から行い、2年間で約20名が新たに地域活動（うち、5名が見守り活動員として活動）を始めている。</li> <li>・ 集いの場づくりとしてカフェを2箇所（月1回）、サロンを1箇所（月1回）、料理伝承会を通じた世代間交流事業などを実施している。</li> </ul>

団体名	特徴	活動内容
ふれあい合川の会（久留米市）	長年に渡る見守り訪問活動やサロンの開催と、ボランティアスクールを通じた会員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月2回程度の訪問及び年8回の会食会を行っている。</li> <li>・見守り対象者の検討及び訪問については、民生委員と連携し、実施している。</li> <li>・高齢者の交流のため、各自治会でいきいきサロン(年3回以上)を開催し、健康体操、講話や脳トレなど、参加者を飽きさせないようプログラム内容を工夫している。</li> <li>・月1回、班長会（定例会）を実施し、訪問活動時の気づきや相談ごとを共有化し、対応について協議を行っている。</li> <li>・年2回、ボランティアスクールを実施し、訪問活動における基本姿勢、気づきのポイントなどの訪問の際に役に立つ知識を学ぶ場を設けることで、会員の資質向上に努めている。</li> </ul>
頃末南区福祉会（水巻町）	会員の負担軽減に配慮した訪問体制及びサロン活動等を通じた高齢者の閉じこもりの防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町から提供される高齢者台帳を、会において見守りの必要性に応じて分類し、見守り対象者を決定している。また、困難事例が発生した際は、会の構成員でもある民生委員が引き継いで対応するなど、個々の会員の負担が過重にならないよう工夫している。</li> <li>・会員全員による定例会議を月1回開催し、会員間で情報共有を行っている。</li> <li>・サロン活動として、高齢者のふれあい昼食会（年4回）、ふれあい体操（月2回）、施設見学会（年1回）、勉強会（年1回）を開催している。ふれあい体操後には、血圧測定や健康相談の他、参加者の親睦を深めるための茶話会も開くなど、高齢者の閉じこもり防止に寄与している。</li> </ul>
桂川町民生児童委員協議会（桂川町）	配食サービスを兼ねた高頻度の訪問と「支え合いマップ」等を活用した見守り対象者の掘り起し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回、社会福祉協議会の広報誌を一人暮らし高齢者等に配布して、安否確認を行っている。また、月3回、一人暮らし高齢者や高齢者夫婦、身体障がい者等に対し、お弁当を作り、家に配達をして安否確認を行っている。</li> <li>・「支え合いマップ」を作成し、ひとり暮らし高齢者や支援者といった地域住民のつながりを視覚化することで孤立している人を見つけ、随時更新のうえ支援を行っている。</li> <li>・月1回、定例会を開催し、会員間で地域の課題を共有している。</li> <li>・各行政区福祉委員や町社会福祉協議会等と連携し、活動を実施しており、各地区で福祉部が開催するお花見や七夕まつり、介護予防教室などに積極的に参加し、子どもや高齢者の話を聞き情報交換を行っている。</li> </ul>
福岡読売防犯協力会（福岡市）	新聞配達業務を通じた見守り活動、独自表彰の実施による会員のモチベーション向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞配達員が配達時のポスト視認、集金時における会話など日常の業務のなかで、防犯・孤立死防止の観点から見守り活動を行っている。</li> <li>・異変を察知した際には、H25に福岡市と締結した高齢者見守りに関する協定（「福岡見守るっ隊」）に基づき、「福岡市見守りダイヤル」へ通報している。</li> <li>・年1回、市開催の「福岡見守るっ隊」の連絡協議会に参加し、同協議会の内容を社内誌の「販売ニュース」に掲載し、全販売店に向け伝達している。</li> <li>・活動において人命救助等の特に優良な事例があった際には、月1回開催している地域毎の販売所所長会において表彰の場を設け、モチベーション向上や、見守りに取り組むことへの動機づけとしている。</li> <li>・「福岡市見守りダイヤル」の通報件数は協定事業者の中で最も多く、そのうち、H28年度1件、H29年度2件が人命救助につながるなど、優れた実績を挙げている。</li> </ul>

令和元年度 福岡県ひとり暮らし高齢者等見守り活動 表彰団体

団体名	特徴	活動内容
壱岐南校区社会福祉協議会  LCI（地域包括ケア壱岐南）会議”  （福岡市）	行政、地域包括支援センター、介護事業所等を構成メンバーとしたLCI会議を開催し、校区全体の福祉活動を活発化。	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政、地域包括支援センター、地域資源（介護・福祉事業所、医療機関、老人クラブ、地元商店街等）も構成メンバーに加えたLCI会議を偶数月に開催。</li> <li>LCI会議は緊急時連絡網として機能しているほか、認知症高齢者が不必要に買い物することを防いだり、行方不明となることを防ぐ支援体制構築へもつながった</li> <li>高齢者の日常の困りごと解決のため生活支援ボランティアグループ「てっだい隊」を結成、中学生も学校帰りにゴミだしボランティアとして活動するなど、地域全体の取組となっている。</li> <li>介護施設を利用した地域カフェ「ふら〜っとカフェ壱岐南」を月1回開催。ボランティアを含め毎回約200人が参加している。必要な人には送迎も手配し、食事の提供、物販、福祉・健康相談、美容ブースの設置など数々の催しも行い、子どもから高齢者まで多世代交流の場となっている。</li> </ul>
草ヶ江校区社会福祉協議会  （福岡市）	見守りマップ（年4回更新）を作成し、見守る側と見守られる側の明確化を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守りマップを作成し、見守る側と見守られる側の明確化を図っている。</li> <li>災害時避難行動要支援者名簿を上記の見守りマップに落とし込んでいる。今年度から災害時個別支援計画の作成にも取り組んでいる。</li> <li>校区内6か所で「ふれあいサロン」を開催している。マンション単位など狭い地域などでのサロン立ち上げに努め、身近な場所で開催することによって高齢者が通いやすいようにしている。</li> <li>手作りお弁当を年3回、赤飯を年1回（年末）、79歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に配っている。</li> </ul>
弥永校区社会福祉協議会  （福岡市）	独自のオレンジプラン「弥永校区ほほえみオレンジプラン」を策定するなど、認知症高齢者に分厚い取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>校区の介護事業所等で構成される「ほっとかれん隊」や地域包括支援センターと日頃から情報共有することで、認知症高齢者の行方不明を未然に防ぎ、万が一行方不明が発生した場合も協力して捜索できる体制を構築している。</li> <li>地域カフェ「ほほえみカフェ」をスーパーマーケットで開催（月1回）しているほか、巡回カフェ（月1回）も開催し、住民同士のつながり、ふれあいのきっかけの場としている。</li> <li>校区独自のオレンジプラン「弥永校区ほほえみオレンジプラン」を策定し、多くの人で認知症を見守り支え合う目標をたて、徘徊模擬訓練の実施などによって幅広い世代へ認知症への理解を呼び掛けている。</li> </ul>
ふれあい御井の会  （久留米市）	サロンや交流会を行うこと、高齢者の孤立や閉じこもりを防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>全15自治区で見守り活動班を編成。民生委員と情報共有することによって発見された課題への対応がスムーズに行われるようにしている。</li> <li>各班（15班）で集いの場「いきいきサロン」を開催し、高齢者の閉じこもりを防いでいる。</li> <li>配食サービス（年7回）、季節ごとの交流会（もみじ狩り、ウォーキング大会、餅つき交流会、留学生との交流会など）を開催し、高齢者同士の交流を促進し孤立を防いでいる。</li> </ul>



団体名	特 徴	活動内容
<p>いのくま 猪熊福祉会ひ まわり  (水巻町)</p>	<p>集いの場の開催など による、閉じこもり防 止。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわり通信を作成して見守り対象者宅に配付（年6回）し、高齢者向けの健康情報などを届けている。</li> <li>・昼食会（年2回）、誕生日会、秋祭りなど集いの場を開催し、講話、カラオケ、ビンゴゲームなど内容を工夫することで出席率を上げ、引きこもりを防いでいる。秋祭りでは食品販売を行い、その収益を見守り活動費に充てる。</li> <li>・見守り活動員の多くが町のボランティア養成講座を受講し、有償ボランティアとしてゴミだしの手伝い、窓ふき、草取りなど家事援助においても活動している。</li> </ul>
<p>団らん処 和菜屋  (北九州市)</p>	<p>ケアマネジャーや作業療法士等の資格を持った従業員が、来所する高齢者の健康状態の確認、助言等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店主や従業員は、作業療法士、ケアマネジャー、女子栄養大学食生活指導士1級の資格を持ち、来店する高齢者の健康状態の確認（店舗で血圧と体重を測定し記録）と助言、介護に関する相談対応などをしながら見守りをしている</li> <li>・店舗はUR金田団地内にあり、団地内やその周辺で買い物弱者となっている高齢者宅に惣菜の宅配を行い、見守りと安否確認を行っている。</li> <li>・団地の高齢者相談担当者や民生委員と連携しながら見守りと安否確認を行っている。また、スタッフの中には、市社協の福祉協力員もいるため、地域全体の見守り活動にも繋がっている。</li> <li>・店内にイートインスペースを設け、高齢者の集いの場と会話の機会を提供している。</li> <li>・民生委員や団地内の商店、町内会や子ども会と連携協力し、高齢者も気軽に参加できる地域イベントを開催している。今年度は「秋の防災まつり」を開催し、消防訓練以外の催しとして、ステージイベント、豚汁ふるまい、餅つき、無料健康介護相談、焼き立てピザ販売なども行った。</li> </ul>

令和2年度 福岡県ひとり暮らし高齢者等見守り活動 表彰団体

団体名	特徴	活動内容
東花畑校区 ふれあいネット“5愛”推進 会（福岡市）	災害時の対応を盛り込んだ「活動マニュアル」の作成や、「安否確認カード」による災害時の安否確認漏れの防止など、平常時だけでなく災害時の見守り体制を整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者名簿をマップに落とし込み、町内ごとに更新しているほか、災害時に安否確認が済んだ家は玄関に「安否確認カード」を貼り付け、安否の確認漏れがないようにするなど、平常時だけでなく、災害時の見守り体制を整備し、安心な体制を整えている。</li> <li>・平常時の具体的な見守り方法をはじめ「避難行動要支援者」の名簿、支援計画、マップの作成方法や、緊急時の対応などをとりまとめた「活動マニュアル」を作成し、活動員が交替した際にも滞りなく活動が行えている。</li> <li>・日頃からの見守りにより、一時行方不明になっていた対象者の発見・保護や、玄関先で倒れていた対象者の早期発見などの大きな成果につながっている。</li> </ul>
板付校区社会 福祉協議会（福 岡市）	定例会による情報共有や研修会による活動員の資質向上により、活動員がひとりで課題を抱え込まない体制を構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学や福祉用具等について学ぶボランティア研修を年1回開催して福祉・介護分野の知識を高めているほか、校区内のコンビニの店員を迎えて、実際に起きた認知症高齢者への対応について、事例を交えて講話してもらったこともある。</li> <li>・定例会や研修会の実施による情報の共有や、介護事業所との連携により、活動員が1人で課題を抱え込まないように工夫している。</li> <li>・毎年、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の基本的な知識や認知症高齢者の徘徊の発生を想定した声掛け方法などを研修している。</li> <li>・H29 から、行方不明の恐れがある認知症高齢者の情報を事前に登録することで、行方不明が発生した時に校区の捜査協力者に連絡して捜索活動を行う「ちょっと一声見守り隊」の仕組みを整備。</li> </ul>
ふれあい宮ノ 陣（久留米市）	見守り訪問活動の班全てに民生委員・児童委員が加わり、各自治会を単位としたサロンの開催など、きめ細やかな見守り活動を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年にわたり月に7回という高い頻度で高齢者単身世帯や高齢者のみの世帯を訪問し、見守り活動を行っている。</li> <li>・見守り訪問活動で発見された課題を班内の民生委員・児童委員につなげ、見守り対象者の情報を共有しており、課題解決が速やかに行われるようにしている。</li> <li>・ボランティアスクールや研修会を開催し、認知症の方への声掛けの具体的な方法をレクチャーするなど、活動員の資質向上や新たな担い手の養成、育成等に取り組んでいる。</li> <li>・見守り活動のほか、年5回の配食サービスに加えて「いきいきサロン」を年4回以上開催し、カラオケや会食、勉強会などを行っている。</li> </ul>

団体名	特徴	活動内容
東福間第4区 福祉会（福津市）	手作りカレンダーの配付をきっかけとした見守り対象者の健康状況把握により、民生委員や地域包括支援センター等と連携した問題解決を実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進員ごとに担当世帯を決め、同じ人が月4回定期的に訪問しているほか、災害時の訪問担当も決めるなど、対象者に寄り添った見守りを行っている。</li> <li>・月に1回、地域のイベント情報などを掲載した手作りのカレンダーを配付し、その際に高齢者一人一人の健康状況を把握し、記録している。</li> <li>・異変を察知した場合には、必要に応じて民生委員や自治会長、市や地域包括支援センターなどと連携して問題解決を図っている。</li> <li>・生活の中のちょっとした相談（電球の交換、ペットの死亡など）を受け付ける「暮らしの相談」や、活動員が毎日交替で見回る「365日の散歩道」を実施するなど、地域に密着した見守り活動を行っている。</li> </ul>
鯉口分譲区福祉「笑学」ネット（水巻町）	行事の案内などを掲載した会報を活用した安否確認や困りごとの把握により、対象者の状況に応じた見守り活動を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者がいない世帯も含めた全ての世帯を見守りの対象としており、その中でも70歳以上の単身者や軽度の障がい者など“気になる人”のマップを数年前に作成し、年1回の運営委員会で共有している。</li> <li>・月に一度発行する「笑学ネットワークだより」に次回活動への参加の可否を返信したり「困りごと」を記入できる半券を付けており、その半券の返信の有無で安否を確認したり、困りごとがある世帯を訪問するなど、訪問のきっかけとしている。</li> <li>・毎年交替する副組長が見守りに従事することで順繰りに多くの人携わるため、後継者不足は起きにくくなっている。</li> </ul>

令和3年度 福岡県ひとり暮らし高齢者等見守り活動 表彰団体

団体名	特徴	活動内容
<p>壱岐東校区社会福祉協議会 (福岡市)</p>	<p>棟長を中心にした見守り活動の実施や、見守りマップの作成により見守り体制を整備し、コロナ禍においても継続して活動を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に加えて障がい者のいる世帯や子育て中の世帯も見守りの対象としている。</li> <li>・公営住宅のみの校区であり、棟ごとに棟長を中心にした見守り活動を実施している。また、棟ごとに見守り推進員を配置して、訪問や声掛けをしている。</li> <li>・高齢者や避難行動要支援者等を記入した見守りマップを棟ごとにデータで作成し、随時更新・情報共有している。</li> <li>・毎月の清掃活動時に、高齢者等も全員顔だけは出してもらい、状況を確認し、近所の方との交流を絶やさないようにしている。</li> <li>・コロナ禍においても、見守り対象者に暑中見舞いや年賀状を出し、何かあれば民生委員や棟長に相談するよう呼び掛けている。</li> </ul>
<p>東箱崎校区社会福祉協議会 (福岡市)</p>	<p>ひとり暮らしの高齢者に加えて外国人も対象とした見守り活動を実施し、コロナ禍でも安否確認を実施するとともに、異文化・多世代の交流イベントを開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり暮らしの高齢者に加えて外国人も見守り対象者としている。自治会の規約を外国語版で作成・配布しており、今後は外国語表記の不在者カードを作成し、長期休暇など留守の際は管理人に渡してもらい、外国人入居者の安否確認として活用していく予定。</li> <li>・民生委員や校区社協、老人クラブなどのメンバーによる見守り会議を月1回開催し、災害時の避難支援体制強化について取り組みを進めている。</li> <li>・校区において認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の基本的な知識や認知症の方への接し方などを研修し、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいる。</li> <li>・コロナ禍においても、暑中見舞いや年賀状を往復はがきで送り、体調や日頃の様子などについて返信してもらうことで安否確認を実施している。</li> <li>・コロナ禍でも外国人や子ども、高齢者の交流の機会とするため、町内の空地に畑を作り、じゃがいもを植えて収穫するイベントを開催するなど、異文化・多世代の交流を図っている。</li> </ul>
<p>小森野校区ふれあいの会 (久留米市)</p>	<p>見守り訪問活動の班に民生委員・児童委員が加わり、活動で発見された課題を速やかに解決</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年にわたり高齢者単身世帯や高齢者のみの世帯を対象に、ボランティアによる見守りの訪問活動、配食サービス、各自治会を単位としたいきいきサロンの開催など、きめ細やかな見守り活動を行っている。</li> <li>・見守り訪問活動で発見された課題を班内の民生委員・児童委員につなげるとともに見守り対象者の情報を共有するなど、課題解決が速やかに行われるようにしている。</li> <li>・ボランティアスクールや研修会をそれぞれ年2回開催し、見守り訪問活動の基本等をレクチャーするなど、活動員の資質向上や新たな担い手の養成、育成等に尽力している。</li> <li>・コロナ禍前は、月1回程度の自宅訪問を基本としていたが、コロナ禍では、月1回程度の自宅訪問を継続しつつ、電話での安否確認を、さらに月1～2回程度実施している。</li> </ul>

団体名	特 徴	活動内容
吉田三区 福 社会 華の輪 (水巻町)	訪問による安否確認 や、行事の案内等を掲 載した会報を回覧す ることにより きめ細かな見守り活 動を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独自に 65 歳以上で独居の方や、夫婦とも身体の調子が良くない方等の見守りのリストを、介護事業所等から情報を貰い作成し、見守り活動に役立てている。</li> <li>・ 行事の案内等を掲載した会報「華の輪通信」を回覧することにより、コロナ禍においても接触することなく活動を実施している。一般家庭にも回覧され、高齢者世帯以外にも関心を持ってもらえるようになっている。</li> <li>・ コロナ禍においても月に 1 回は訪問を行っており、インターホン越しや距離を取って安否確認等を行っている。</li> <li>・ 訪問時に対象者が倒れていたことが 4、5 回あり、民生委員に報告を行ったこともある。</li> <li>・ 社会福祉協議会が行っている地域福祉ネットワーク講習会に毎年参加し、見守り・支え合い活動等の講習を受け、取組みの発表を行うこと等により活動員の資質向上に努めている。</li> </ul>

## 令和4年度 福岡県ひとり暮らし高齢者等見守り活動 表彰団体

団体名	特徴	活動内容
福重(ふくしげ)校区社会福祉協議会(福岡市西区)	訪問だけでなく電話での安否確認の実施や、見守りマップの作成により見守り体制を整備し、コロナ禍においても継続して活動を実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動員ごとに見守りの対象者を決め、月4回分担して訪問している。</li> <li>・見守り対象者と見守りを行うボランティアを地図上に落とし込み、避難行動要支援者名簿の登載者を追記して、各町内の高齢者等の状況が一目で分かる見守りマップを作成している。</li> <li>・見守り活動を行う中での課題や見守り対象者の情報について活動員同士で共有する班長会議や校区会議を開催している。</li> <li>・毎月の清掃活動時に声掛けを行い、対象者の把握に努め、虚弱な方や地域の方から見守りが必要であると心配の声が上がった方は特に注意して見守りを行っている。</li> <li>・校区社協の福祉活動と今後の具体的な取組の方針を集約した校区福祉のまちづくりプランを作成し、校区内の全世帯に配布することで活動の周知と住民全体の協力を呼び掛けている。</li> </ul>
京町(きょうまち)町内会 たんぼぼ会(筑紫野市)	見守りのスケジュールを工夫し、訪問活動に留まらない見守りを実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問時に町内で実施される高齢者サロンの参加を呼びかけ、対象者の地域とのつながりを促進している。</li> <li>・毎月定例会を開催し、対象者の情報更新を行っているほか、健康や介護予防に関する情報提供、訪問時に気を付けるポイントの確認を行っている。</li> <li>・緊急時や高齢者の異変を察知した場合には、公民館と連携し警察や消防、地域包括支援センター、民生委員・児童委員等適切な機関へ通報している。</li> <li>・コロナ禍で訪問ができないときは、対象者にチラシをポスティングすることで顔を合わせない見守りを実施した。</li> <li>・対象者の向こう3軒両隣の住民にも見守りの意識を持ってもらうため、「さりげない見守り」を促すリーフレットを配布した。</li> </ul>
むさしヶ丘訪問見守り会(ひまわり会)(筑紫野市)	見守り訪問活動だけでなく、見守り対象者の半数以上が参加する交流会を開催し、引きこもりを防止。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問活動中に、お揃いの上着を着て活動し、活動のアピールと対象者に安心感を与えられるように工夫している。</li> <li>・対象者が不在の場合は、「不在カード」をポスティングし、見守りにきたことを伝えるようにしている。</li> <li>・訪問活動後に行う報告会では、定期的に地域包括支援センターの職員が参加し情報共有をしているため、活動員が問題を抱え込むことを防止できている。</li> <li>・地域の福祉分野で活躍している団体(サロン関係者、立ち番で子どもを見守る団体、シニアクラブ、子ども会等)が集い、福祉連絡会を月1回開催し、お互いの活動を知ることによって連携の基盤を整えている。</li> <li>・コロナ禍で直接会うことが憚られるときは、対象者に電話連絡を行い、顔を合わせない見守りを実施した。</li> </ul>

団体名	特徴	活動内容
<p>山川(やまかわ)ふれあいの会 (久留米市)</p>	<p>訪問による安否確認のほか、配食サービスの実施、いきいきサロン等を開催しきめ細かな見守り活動を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年にわたり、高齢者の単身世帯、高齢者のみの世帯を対象に見守り訪問活動を実施。</li> <li>・見守り活動で発見された課題や対象者の情報を民生委員・児童委員に共有し、見守りと課題解決がスムーズに行われるようにしている。</li> <li>・年10回程度班長会を開催し、見守り訪問活度の共有や配食サービス、サロン等の活動状況の共有、個別ケースの課題等の協議を行っている。</li> <li>・コロナ禍には、家の中まで入らず玄関口での見守りや声掛け、電話等で安否確認を実施し、感染症対策を行いながら見守りを継続。</li> <li>・認知症の方への声掛けや防災、見守りのポイント、地域の支え合い等様々なテーマでボランティアスクールや研修会を開催し、会員の資質向上や新たな担い手の養成、育成等に尽力している。</li> </ul>
<p>立(たて)屋敷(やしき)区福祉会 (水巻町)</p>	<p>訪問時には、身分を証明するための会員証を持参に対象者に安心感を与える工夫をしているほか、ちょっとしたプレゼント(野菜など)を持参し、交流のきっかけとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問活動時に対象者が不在で、携帯電話もつながらない等本人と連絡が取れない場合は、緊急連絡先や本人と親しい方、高齢者支援センターに連絡し安全を確認できるようにしている。</li> <li>・訪問時に「立屋敷通信」を配布したり、高齢者向けの情報や季節ごとの注意喚起をしたりしている。</li> <li>・家族表や見守り調査票の更新や、健康状況を記録し、個人情報漏洩防止のため、見守り調査票は会長が管理している。</li> <li>・新会員募集の声掛けをし、活動が途切れないように後継者に育成に努めている。</li> <li>・コロナ禍のため、サロン活動は中止になることがあるが、通常は公民館でのふれあい体操終了後に、サロン活動として茶話会を実施し、住民同士の交流の場となっている。</li> </ul>
<p>西部ガス・カスタマーサービス(株)お客さま保安部 福岡西事業所(福岡市城南区)</p>	<p>毎月の業務で異変に気づいたら、社協や福岡市見守りダイヤル、救急安心センターで連絡し、異変時の早期発見に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関とのスムーズに連携が取れるように、日頃から社協以外に地域包括支援センターへの活動説明を行っている。</li> <li>・企業スタッフ全員が認知症サポーター養成講座を受講し、認知症への理解を深めている。</li> <li>・路上等で気になる高齢者を見かけた際に名前を確認し、自宅や施設まで送り届けたり、高齢夫婦の荷物運びをしたり等見守り以外の活動を行った実績がある。</li> <li>・地域住民全体のふれあいサロンに積極的に参加し、ガスコニロの安全装置についての説明等を行い、高齢者が安心して在宅生活を送れるよう啓発を行っている。</li> <li>・小学生の登校時の旗持ちを行い、高齢者だけでなく子どもたちの見守りも行っている。</li> </ul>